




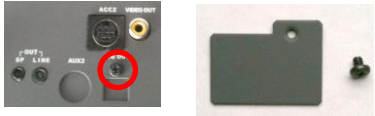

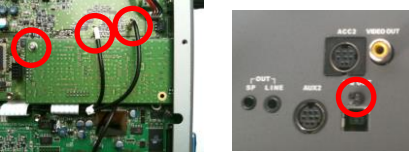


はじめに

- ・本紙は AR5001D を基に説明しています。
その他 AR2300 や AR6000 も内部構造はほぼ同じです。
- ・事前に外部電源を外し、電源が切れた状態で作業を行ってください。
- ・静電気による電子部品破損防止のため、作業前に体の放電処置をおすすめ致します。
- ・本作業につきましては、お客様自身の責任において怪我や、感電事故、機器破損などない様に十分な注意をお願い致します。
- ・ご不明な事がございましたら下記お問い合わせ先までお願い致します。

必要な工具： プラスドライバー#1,#2、ニッパー、作業手袋等

①	受信機のハンドルを固定しているネジ 2 個を外します。	
②	受信機側面のゴム足 4 個を外します。	
③	受信機上下カバーを固定している皿ネジ 14 個を外します。	
④	受信機上部と底面のバインドネジ 2 個を外します。	
⑤	上下のカバーを取外します。	
⑥	背面の IQOUT コネクタ部のバインドネジ 1 個を外す事で、メクラ蓋が取れます。 (外したメクラ蓋は保管ください)	
⑦	写真にある同軸ケーブル 2 本の片側をコネクタ部より外します。 点線位置へ IQ5001 ボードを取り付けます。 ※同軸ケーブル同士を結束しているインシュロックが邪魔をする場合にはニッパーで切断してください。 同軸ケーブルを切断しない様にご注意下さい。	
⑧	同軸ケーブル 2 本を元のコネクタへしっかり挿入してください。 付属の M3 ナベネジと、⑥で外したバインドネジで基板を固定します。	
⑨	上下カバーとハンドルおよび側面ゴム足を取り付けて完成です。	